

鳥取縣公報

第三百九十五號

昭和八年二月十七日

金曜日

條例

◇鳥取縣條例第一號

縣稅賦課條例ヲ左ノ通改正シ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年二月十七日

鳥取縣知事 館 哲 二

鳥取縣稅賦課條例

第一章 總 則

第一條 縣稅トシテ賦課スベキ稅目左ノ通

- 一 地租附加稅
- 二 特別地稅

00712

- 三 營業收益稅附加稅
- 四 所得稅附加稅
- 五 鑛業稅附加稅
- 六 家屋稅
- 七 營業稅

- 物品販賣業稅
- 銀行業稅
- 無盡業稅
- 金錢貸付業稅
- 物品貸付業稅
- 製造業稅
- 運送業稅
- 倉庫業稅
- 請負業稅

00713

- 印刷業稅
- 出版業稅
- 寫真業稅
- 席貸業稅
- 旅人宿業稅
- 料理屋業稅
- 周旋業稅
- 代理業稅
- 仲立業稅
- 問屋業稅
- 兩替業稅
- 湯屋業稅
- 理髮業稅
- 寄席業稅

八 雜種稅

遊技場業稅
遊覽所業稅
藝妓置屋業稅

船稅
車稅
水車稅
市場稅
電柱稅
金庫稅
牛馬稅
犬獵稅
狩獵稅
屠畜稅

不動產取得稅
船舶取得稅
漁業稅
遊藝師匠稅
遊藝人稅
俳優稅
藝妓稅
演劇其ノ他ノ興行稅
遊興稅
旋風器稅
備人稅
代書人稅
鑛泉稅
觀覽稅

00716

遊漁税
給仕人税

第二章 納税義務者

第二條 旋風器税ハ旋風器ヲ使用スルモノニ之ヲ賦課ス

第三條 傭人税ハ専ラ家事ニ従事セシムルガ爲ニ僕婢ヲ雇傭スルモノニ之ヲ賦課ス

第四條 觀覽税ハ演劇其ノ他ノ興行ヲ觀覽若ハ聽聞スル者又ハ地方競馬ヲ觀覽シ若ハ其ノ優勝

馬投票入場券ヲ購入スル者ニ之ヲ賦課ス

第五條 遊漁税ハ漁業者ニ非ズシテ漁撈ヲ爲ス者ニ之ヲ賦課ス

第六條 給仕人税ハ料理屋(カフェー、飲食店ヲ含ム)貸座敷、旅人宿等ノ經營者ニシテ客ノ

接待斡旋ヲ爲ス給仕人(女給、仲居、女中其ノ他名稱ノ何タルヲ問ハズ)ヲ置クモノニ之ヲ

賦課ス

第七條 府縣制第百八條及府縣制施行令第三十條ノ規定ニ依ルモノニシテ本縣内ニ二以上ノ營

業所アルトキハ知事ノ指定セル一市町村ニ於テ之ヲ賦課ス

第八條 同一人ニシテ數種ノ營業ヲ營ムモノニハ各種別毎ニ營業税ヲ賦課ス

00717

同一人ニシテ二ヶ所以上ノ店舗、營業所又ハ製造場ヲ有スルトキハ各箇所毎ニ營業税ヲ賦課ス

第九條 一ノ家ニシテ二市町村以上ニ跨ル場合ニ於テハ主タル表入口ノ屬スル市町村ニ於テ家屋税又ハ不動産取得税ヲ賦課ス

第十條 同一營業者ノ所有スル自動車又ハ荷積車ニシテ二以上ノ市町村ニ定置場ヲ定ムル場合ハ主タル營業所ノ屬スル市町村ニ於テ車税ヲ賦課ス

第三章 課税標準

第十一條 縣税ノ課税標準ハ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外納税義務者ノ申告ニ依ル

納税義務者課税標準ノ申告ヲ爲サズ又ハ其ノ爲シタル申告不相當ト認ムルトキハ知事ニ於テ課税標準ヲ認定ス

第十二條 營業税ノ課税標準ノ計算ハ左ノ各號ニ依ル

- 一 賣上金、收入金、資本金及貸付金ハ前年度中ノ總額ニ依ル但シ前年四月一日ヨリ引續キ營業ヲ爲サザルモノ又ハ課税標準ノ判明ナラザルモノハ其ノ年度ノ豫定額ニ依ル
- 二 湯屋業ノ内鑛泉ノ浴槽ヲ區劃シテ二以上ノ浴槽トナシタルモノハ各區ヲ一浴槽ト看做ス

三 理髮業税ノ課税標準タル理髮者ハ理髮試験ニ合格シタル者ニ限り、徒弟又ハ見習者ハ理髮者以外ノ從業者ニシテ年齢十七歳以上ノ者ニ限ル

第十三條 雜種税ノ課税標準ノ計算ハ左ノ各號ニ依ル

- 一 日本型船、鯨漁船、小廻船又ハ遊船ノ長サハ鱧ノ立チノ基部内面ヨリ船尾材(戸立)ノ内面迄ノ距離ニ依ル
- 二 荷積車ハ左ノ通之ヲ區分ス
 - 大車 荷臺ノ面積 一、六五 平方米以上ノモノ
 - 中車 荷臺ノ面積 ○、九一 平方米以上 一、六五 平方米未満ノモノ
 - 小車 荷臺面積 ○、九一 平方米未満ノモノ
- 三 電柱ハA形、H形又ハ三角形其ノ他特殊ノ構造ヲナスモノト雖之ヲ一本ト計算ス
- 四 金庫ノ高サハ外寸法ニ依リ計算ス但シ車アルモノニ付テハ車ノ高サハ之ヲ加算セズ
- 五 其ノ他牛馬トハ賦課期日ニ於テ生後十二ヶ月以上ノモノヲ謂フ
- 六 不動産價額又ハ船舶價額ハ登記ヲ爲シタルモノニ在リテハ其ノ登記價額、登記ヲ爲サザルモノニ在リテハ建築又ハ建造ノ工費額ニ依ル但シ登記價額又ハ工費額ニ依ルヲ相當ナ

ラズト認ムルモノハ時價又ハ見積工費額ニ依ル

七 演劇其ノ他興行ノ收入金ハ入場料、會費、木戸錢、棒代、下足料若ハ蒲團、火鉢等ノ賃貨料其ノ他名義ノ何タルト料金徴收者ノ何人タルト問ハズ觀覽者又ハ聽聞者ヨリ收入スル最高一人當一切ノ料金合算額トス

八 鑛泉ノ浴槽ヲ區別シテ二以上ノ浴槽トナシタルモノハ各區ヲ一浴槽ト看做ス

九 觀覽税ノ觀覽料ハ演劇其ノ他ノ興行ニ在リテハ觀覽者又ハ聽聞者ヨリ收入スル各等別一切ノ料金合算額トシ地方競馬ニ在リテハ普通入場券又ハ優勝馬投票券附入場券ノ券面金額トス觀覽席ノ全部又ハ一部ヲ買收シタルモノハ其ノ席ニ入り得ル人員數ニ依リ計算ス給仕人ハ一營業者ノ使用スル給仕人數ヨリ各一人ヲ減ジタル人員數ニ依ル

第十四條 賦課期日後ニ於テハ法令ニ別段ノ規定アル場合及左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外賦課額ハ之ヲ増加又ハ減免セズ

- 一 地租附加税及特別地税ニシテ荒地免租ノ事由生ジタルトキ
- 二 營業收益税附加税、所得税附加税又ハ鑛業税附加税ニシテ本税額増加若ハ減免セラレタルトキ
- 三 日税ニシテ豫定日數ニ依リ賦課ヲ受ケタルモノ其ノ豫定日數ニ増減アリタルトキ

00720

四 藝妓税ニシテ藝妓疾病其ノ他ノ事由ニ依リ其ノ月ノ休業日數十五日以上ニ及ビタルトキ
前項第一號乃至第三號ノ場合ハ更ニ本税額、土地賃賃價額、實日數ヲ標準トシ賦課額ヲ
變更ス第四號ノ場合休業日數一月ニ及プトキハ其ノ全額ヲ免除シ一月ニ達セザルトキハ
其ノ二分ノ一ヲ減ズ

第四章 課 率 課 額

第十五條 地租附加税、特別地税、營業收益税附加税、所得税附加税、鑛業税附加税及家屋税ハ
當該年度ノ豫算ニ定ムル課率ニ依リ之ヲ賦課ス

第十六條 營業税及雜種税ハ別表ノ課率課額ニ依リ之ヲ賦課ス

第十七條 遊藝師匠、遊藝人、藝妓ヲ相兼ヌルモノハ其ノ内税額ノ最モ多キモノニ付課税ス

第十八條 賦課洩又ハ逋脱者ニ對スル縣税ハ逋脱ノ初期判明セザルトキハ認定ニ依リ期間ヲ定メ
其ノ期間内毎年度ノ課率課額ニ依リ賦課ス

第五章 賦 課 期 日

第十八條ノ二 縣税ノ賦課期日ハ左ノ各號ニ依ル

一 地租附加税、特別地税、營業税及雜種税中別ニ規定セルモノノ外年税ハ四月一日及十月

00721

一日

二 家屋税ハ四月一日

三 月税ハ毎月一日

四 營業收益税附加税（法人ニ對スルモノヲ除ク）鑛業税附加税ハ本税納期ノ翌月一日 但
シ府縣制第百八條及府縣制施行令第三十條ノ規定ニ依ルモノハ本税決定ノ日

五 第三種所得税附加税ハ八月一日及十一月一日 但シ府縣制第百八條ノ規定ニ依ルモノハ
本税決定ノ日

六 法人ニ對スル營業收益税附加税、第一種所得税附加税ハ本税決定ノ日

七 日税ハ届出ノ時

八 船税、水車税、牛馬税、犬税、漁業税（但シ鹹水漁業ノ内船舶ヲ用ヒザル漁業及淡水漁
業ノ内雜漁ニ限ル）及遊漁税ハ四月一日

九 旋風器税ハ七月二十日

十 狩獵税ハ狩獵免許ノ日、請負業税（請負金ニ對スルモノ）ハ届出ノ日、不動産取得税及
船舶取得税ハ其ノ取得ノ日、遊興税ハ遊興ナシタルトキ、觀覽税ハ觀覽ヲナサントスル

00722

トキ

十一 前各號ニ掲グル以外ノ縣稅ハ納稅義務發生ノ日

十二 第一號乃至第五號、第八號及第九號ノ縣稅ニシテ其ノ賦課期日後新ニ納稅義務發生シ

タルトキハ其ノ納稅義務發生ノ日

年稅ノ前期ハ其ノ年四月一日ヨリ九月三十日迄トシ後期ハ其ノ年十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第六章 免 稅

第十九條 左ニ掲グルモノニハ課稅セズ

- 一 貧困ニ依リ生活ノ爲公費ノ救助ヲ受クル者但シ一時ノ救助ハ此ノ限ニ在ラズ
- 二 農會、產業組合、農業倉庫、住宅組合、同業組合、畜産組合、水産組合、漁業組合、水利組合、耕地整理組合、蠶絲業組合、商工會議所、私立學校、圖書館、幼稚園、孤兒院(育兒院)又ハ公益ヲ目的トシ營利事業ヲ爲サザル私人ノ爲ス事業、直接其ノ業務ニ使用スル土地、建物、牛馬、船舶、荷積車、水車、不動産又ハ船舶ノ取得但シ利用組合又ハ住宅組合ニ於テ組合員ニ居住セシムルガ爲建築シタル家屋ニ對スル家屋稅ハ建築竣成

00723

シタル月ヨリ三ヶ年ニ限ル本號ニ該當スルモノト雖有料ニテ他ニ使用セシムル場合ハ免稅セズ

三 家屋賃貸價格年額一圓未満ノ家屋

四 自家ノ製造スル蠶種ノ販賣

五 從業者ヲ使用セズ自ラ製造ニ從事スル木炭製造業但シ收入金年額二百五十圓以上ノモノヲ除ク

六 營業所ヲ有セズ從業者ヲ使用セザルモノニシテ馬車ヲ用ヒ人又ハ荷物ヲ運送スル者

河川ニ於ケル渡船ヲ業トスル者、赤帽、仲仕其ノ他之ニ類スル者

七 收入金額、賣上金額、請負金額ヲ課稅標準トスルモノニシテ一ヶ年ノ收入賣上又ハ請負金額五十圓未満モノ

八 履物直業者、羅字仕替業者等ニシテ營業所ヲ一定セザル者

九 耕作専用ノ船、河川ニ於ケル渡船、五噸以上ノ本船ニ屬スル傳馬船(一隻ニ限ル)

十 警察官吏、道路工夫、穀物検査所出張所又ハ林産物検査所出張所ニ勤務スル技術員ノ職務ノ爲専用スル自轉車、車輛直徑五〇糎未満ノ自轉車

00724

十一 耕作木輪ノ荷積用車及營利ヲ目的トセザル撒水車
 十二 左ニ掲グル電柱

イ 營業用ニ非ザルモノ

ロ 支柱(支線又ハ配電線ノ柱ヲ含マズ)

ハ 賦課期日ノ屬スル前年度ノ決算ニ於テ利益配當ガ拂込金額ニ對シ年三分ニ滿タザル
 電氣事業會社ノ電柱

十三 手提金庫

十四 左ニ掲グル不動産ノ取得

イ 耕地整理ノ爲換地處分ニ因ルモノ

ロ 部落有財産ノ統一ニ因ルモノ

ハ 土地ヲ所有セザル者又ハ耕地七反歩未滿ノ所有者ガ自ラ耕作シ之ガ爲取得スル耕地

ニシテ同居家族ノ分ト合算シテ總反別七反歩ニ達スル迄ノ分ニ對シ取得登記ノ日ヨ

リ二十日以内ニ所轄財務出張所長ニ申告シタルモノ

ニ 漁船ノ取得價格三十圓未滿ノ不動産及船舶ノ取得

00725

ホ 自作農創設維持獎勵ノ爲國又ハ縣ヨリ融通セル資金ヲ借入レ購入シタル田畑宅地ノ
 取得

ヘ 罹災後又ハ土地收用法ノ適用後三年以内ニ其ノ建物ニ代ルベキ建物ノ取得

ト 在來建物ノ改築又ハ移築但シ増築シタル部分若ハ價格ノ増加シタル部分ハ此ノ限ニ

在ラズ

チ 開墾土地移住獎勵補助金ノ交付ヲ受ケ建築シタル建物

リ 掘立小屋假小屋、又ハ一時ノ使用ニ供スル建物(六ヶ月以内ニテ取除クモノニ限ル)

ヌ 五坪未滿ノ住家

十五 盲人ノ營ム遊藝師匠及遊藝人

十六 遊漁者ニシテ年齡十五歲以下ノ者又ハ七十歲以上ノ者

十七 年齡十四歲未滿ノ傭人若ハ給仕人又ハ納稅濟ノ期間内ニ於テ補充ヲ爲シタル傭人若ハ

給仕人

十八 觀覽料一回金十五錢未滿ノ觀覽

十九 商品ニシテ店舗又ハ倉庫ニ陳列若ハ藏置シテ全ク使用セザル物件

00726

第七章 罰 則

第二十條 詐偽其ノ他不正ノ所爲ニ依リ縣稅ヲ違脱シタルモノニ付テハ違脱シタル金額ノ三倍 (其ノ金額五圓未滿ナルトキハ五圓) 以下ノ過料ヲ科ス但シ自首シタルトキハ減免スルコトアルベシ

附 則

大正八年鳥取縣令第六號縣稅賦課條例ハ本條例施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

鳥取縣營業稅及雜種稅課率課額表

營業稅	稅	
物品販賣業稅	年 稅	賣上金 千分ノ三、一四 營業主 金四圓七十一錢
牛馬賣買		收入金 千分ノ七、八五 營業主 金一圓五十七錢
飲食店		但シ收入金五十圓以上百圓未滿ハ年稅總額金一圓五十七錢
其他		賣上金 千分ノ六、二八 營業主 金二圓三十五錢

00727

但シ賣上金百五十圓未滿ハ年稅總額ヲ金二圓三十五錢、五十圓以上百圓未滿ハ同上金二圓五十七錢トス

銀行業稅	年 稅	資本金 萬分ノ二十七、四九
無盡業稅	年 稅	收入金 千 分 ノ 十
金錢貸付業稅	年 稅	貸付金 千分ノ五、四九 營業主 金二圓三十五錢
物品貸付業稅	年 稅	(動植物其ノ他普通ニ物品ト稱セザルモノヲ貸付スルモ仍物品貸付業ト看倣ス)

製造業稅	年 稅	物品價格 千分ノ二、三五 營業主 金二圓三十五錢
營業稅	年 稅	收入金 千分ノ四、七一 營業主 金二圓三十五錢

但シ收入金四百圓未滿ハ年稅總額ヲ金三圓十四錢、二百五十圓未滿ハ同上金二圓三十五錢百圓未滿ハ同上七十八錢トス

運送業稅	年 稅	收入金 千分ノ七、八五 營業主 金二圓三十五錢
------	-----	----------------------------

倉庫業稅	年稅	營業主	千分ノ七、八五
請負業稅	年稅	營業主	千分ノ四、七一
印刷業稅	年稅	營業主	金二圓三十五錢
出版業稅	年稅	營業主	金六圓二十八錢
寫真業稅	年稅	營業主	金二圓三十五錢
席貸業稅	年稅	營業主	金四圓七十一錢
旅人宿業稅	年稅	營業主	金二圓三十五錢
旅人宿		營業主	金二圓三十五錢
下宿屋		營業主	金二圓三十五錢
但シ收入金百五十圓未満ハ年稅總額金一圓五十七錢トス			

料理屋業稅	年稅	營業主	千分ノ十九、六四
周旋業稅	年稅	營業主	金三圓十四錢
代理業稅	年稅	營業主	金三圓十四錢
仲立業稅	年稅	營業主	金三圓十四錢
問屋業稅	年稅	營業主	金三圓九十二錢
兩替業稅	年稅	營業主	金二圓三十五錢
湯屋業稅	年稅	營業主	金四圓七十一錢
鑛	泉一浴槽		
洗	湯(藥湯共)		
	浴室拾五坪以上ニシテ入浴料三錢以上	營業主	金七圓八十五錢
	同 上 三錢未滿	營業主	金六圓二十八錢
	浴室八坪以上ニシテ入浴料三錢以上	營業主	金六圓二十八錢
	同 上 三錢未滿	營業主	金五圓十錢
	浴室八坪未満ニシテ入浴料三錢以上	營業主	金五圓十錢

同 上 二錢未滿 金二圓三十五錢

理髮業者 金九十四錢

理髮料金最高一人三十錢以上

同 上 二十錢以上 金三圓九十二錢

同 上 十五錢以上 金二圓七十四錢

同 上 十五錢未滿 金一圓九十六錢

理髮者以外ノ從業者アルモノニハ各一人ニ付本税ノ四分ノ一ヲ增加ス

寄席業税 日税 收入金ノ千分ノ三

遊技場業税

常設年税(玉突臺其ノ他) 一臺 金七圓八十五錢
金三圓九十二錢

臨時日税 金二十三錢

遊覽所業税 日税 最高料金ノ十分ノ一分

藝妓置屋業税 月税

鳥取市、米子市 藝妓十四歲以上 一人 金二圓五錢

東伯郡倉吉町及 藝妓十四歲未滿及娼妓兼業者 同 金一圓九錢

其ノ連接地 酌 同 金六十八錢

西伯郡境町 藝妓十四歲以上 一人 金一圓五十錢

酌 藝妓十四歲未滿及娼妓兼業者 同 金九十五錢

但シ花代ヲ徴セザルモノハ半額トス 同 金六十八錢

其ノ他 藝妓十四歲以上 一人 金一圓九錢

酌 藝妓十四歲未滿及娼妓兼業者 同 金八十一錢

但シ花代ヲ徴セザルモノハ半額トス 同 金五十四錢

月税額一圓八十三錢ヲ超ユルモノニ對シテハ其ノ税額ニ超過税額ノ百分ノ十八ヲ增加ス

船 雜 種 稅

船 稅 年 稅

蒸 汽 船 總噸數一噸 金 十 錢

發 動 機 船 同 金 十 五 錢

但シ五噸未滿ハ年稅金七十錢トス

西 洋 形 風 帆 船 同 金 十 六 錢

日 本 形 船 (積石五十石以上ノモノ) 一石 金 五 錢

諸 船

解 漁 船 小 廻 船 二間以上 金 一圓五十錢

及 五 十 石 未 滿 一 間 以 上 金 一 圓 十 錢

ノ 船 一 間 未 滿 金 八 十 錢

二間以上二間ヲ加フル毎ニ金三十四錢ヲ增加ス

遊 船 長 サ 三間迄 金 五 圓

三間以上二間ヲ加フル毎ニ金一圓ヲ增加ス

車 稅 年 稅

自 動 車

客車一人乗 一輛 金 十 五 圓

客車三人乗迄 同 金 二 十 五 圓

客車六人乗迄 同 金 四 十 圓

六人乗以上一人ヲ加フル毎ニ金三圓ヲ增加ス

貨 車 二輛未滿 同 金 二 十 圓

三輛以上 同 金 二 十 五 圓

自 轉 車 動 力 付 一輛 金 十 圓

荷 積 用 同 金 六 圓五十錢

其 他 同 金 四 圓二十錢

諸 車 馬車二頭立 一輛 金 十 三 圓

同 一頭立 同 金 十 一 圓

人 力 車 自家用 一臺 金 八 圓

荷 積 大 車 同 金 四 圓五十錢

同 中 車 同 金 三 圓四十錢

同 小 車 同 金 二 圓五十錢

但シ俗ニ丁稚車ト稱スルモノ又ハ之ニ類似ノモノハ本稅ト半額トス

00734

同 馬車 (牛馬ニテ曳ク荷積大車)	一臺	金七圓
同 中車同小車ヲ除ク		
水車 稅 年 稅		
挽臼ヲ備フルモノ	白一個	金一圓
春臼ヲ備フルモノ	同	金四十錢
製絲機械ヲ備フルモノ	一臺	金十二圓
機織機械ヲ備フルモノ	同	金十一圓
製材機械ヲ備フルモノ	同	金十一圓
送風機ヲ備フルモノ	同	金八圓
粉碎機ヲ備フルモノ	同	金八圓
其ノ他ノ機械ヲ備フルモノ	同	金五圓
市場 稅		
家畜 市		
常設 年 稅	{鳥取市、米子市 其ノ他}	金四十圓

00735

定期及臨時 日 稅	{西伯郡大山村 其ノ他}	金一圓八十錢
其ノ他ノ市		
常設 年 稅	{鳥取市、米子市 其ノ他}	金三十六圓
臨時 日 稅		金一圓五十錢
電柱 稅 年 稅		
木 柱 (鳥取市、米子市、東伯郡 倉吉町ノ地域ニアルモノ)	一本	金七十錢
其ノ他	同	金六十錢
鐵 柱	同	金一圓
鐵 塔	一基	金二圓

賦課期日ノ直前一ヶ年分ノ事業年度ニ於ケル利益配當年六分未滿四分以上ノ會社ノ所有ニ屬スル電柱ニ對シテハ稅率ノ四割ヲ減ジタル額ヲ以テ其ノ稅率トス

金庫	年稅	一個	金三圓
高サ	三尺未滿	同	金四圓
同	三尺以上	同	金五圓
同	四尺以上	同	金七圓
同	五尺以上	同	金十五圓
同	六尺以上		
牛馬	稅年稅	一頭	金二圓
乳牛		同	金二圓
種牡牛		同	金五十錢
其ノ他ノ牛馬		一頭	金二圓四十錢
犬	稅年稅	免許稅ノ百分ノ十	
狩獵	稅季稅		
屠畜	稅	一項	金四圓
牛			

馬、驢	同	金二圓
駒、羊、豚	同	金一圓
不動產取得稅	價格ノ千分ノ十二	
船舶取得稅	價格工費額ノ千分ノ十二	
漁業稅	年稅	
漁業權	專用漁業	一件 金四圓五十錢
	定置漁業 (石竈ヲ除ク)	同 金三圓六十錢
	區劃漁業	同 金二圓七十錢
	特別漁業	同 金二圓七十錢
鹹水漁業		
動力ヲ有スル船舶ニヨル漁業		
船舶二十噸以上	一隻	金三十七圓八十錢
同 十五噸以上		
同 二十噸未滿		金二十五圓二十錢

同 十噸以上 同 金十八圓九十錢
 同 十五噸未滿 同 金十二圓六十錢
 同 五噸以上 同 金三圓十五錢
 同 十噸未滿 同 金三圓十五錢
 同 五噸未滿 同 金三圓十五錢

動力ヲ有セザル船舶ニヨル漁業

長サ 五間以上 一隻 金三圓十五錢
 同 三間以上 同 金一圓二十六錢
 同 五間未滿 同 金一圓二十六錢
 同 三間未滿 同 金六十三錢
 船舶ヲ用ヒザル漁業 一人 金十九錢

淡水漁業

引網一側 百尋以上 金二圓十六錢
 以上五十尋ヲ増ス毎ニ金二十六錢ヲ増加ス
 百尋未滿 金一圓四十四錢

掛網一側 百尋以上 金一圓八十錢
 以上五十尋ヲ増ス毎ニ金二十七錢ヲ増加ス
 百尋未滿 金一圓八錢

石 竈

大方 一丈六尺以上 一箇 金一圓八十錢
 中方 二丈以上 同 金一圓三十五錢
 小方 一丈未滿 同 金七十二錢
 湖山川口 一番 同 金二十七圓
 同 二番 同 金十三圓五十錢

蝦曳網 (糠蝦曳網蝦持網共) 一人 金五十四錢
 鰻筒漬 同 金一圓八十錢
 川 (ガワ) 一側 金一圓八十錢

投網 ヤス漁 一人 金一圓十七錢
 延繩 釣漁
 雜漁 引掛漁

遊藝師匠稅 年稅 金 三 圓

遊藝人稅 年稅 金 一 圓

演劇興行ニ從事スル者 金 一 圓

活動寫真辯士 金 三 圓

其ノ他 金 一 圓

俳優稅 年稅 金 一 圓

藝妓稅 月稅 金 一 圓

鳥取市、米子市、
東伯郡倉吉町及
其ノ他連接地 十四歲以上
娼妓兼業者及
十四歲未滿 酌 婦 金 八 圓

但シ花代ヲ徵セザルモノハ半額トス

西伯郡境町 十四歲以上
娼妓兼業者及
十四歲未滿 酌 婦 金 四 圓

但シ花代ヲ徵セザルモノハ半額トス

西伯郡境町 十四歲以上
娼妓兼業者及
十四歲未滿 酌 婦 金 一圓二十錢

但シ花代ヲ徵セザルモノハ半額トス

其ノ他 十四歲以上
娼妓兼業者及
十四歲未滿 酌 婦 金 四圓八十錢

但シ花代ヲ徵セザルモノハ半額トス

金 二圓八十錢

演劇其ノ他ノ興行稅 日稅 金 一圓十二錢

定 小屋

建 坪 二百坪以上 客一人ニ對スル收入金ノ 二十人分

同 坪 百五十坪以上 同 十七人分

同 坪 百坪以上 同 十四人分

同 坪 百坪未滿 同 十二人分

其ノ他 同 二十五人分

但シ鳥取市、米子市、東伯郡倉吉町及其ノ連接地以外ニ於テ爲スモノハ八人分トス

遊興稅 消費金額中花代ノミニ對シ 百分ノ七

旋風機稅 季稅 一臺 金 二 圓

備 人 稅 年 稅
代 書 人 稅 年 稅

一 人 金 一 圓

鳥取市、米子市、東伯郡倉吉町

金 六 圓

其 ノ 他

金 四 圓

但シ助手アルモノニハ一人ニ付本稅ノ半額ヲ増加ス

鑛 泉 稅 年 稅

一 浴 槽

金 三 圓

觀 覽 稅

觀 覽 料 ノ

百 分 ノ 五

但シ地方競馬ノ優勝馬投票入場券ニ對シテハ其ノ券面金額ノ

百 分 ノ 三

遊 漁 稅 季 稅

所得稅ヲ納ムル者 一人

金 二 圓

所得稅ヲ納メザル者 同

金 一 圓 五 十 錢

給 仕 人 稅 月 稅

給 仕 人 一 人 金 五 十 錢

鳥取縣條例第二號

縣稅賦課條例施行細則ヲ左ノ通改正シ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年二月十七日

鳥取縣知事

館

哲

二

鳥取縣稅賦課條例施行細則

第一章 課 稅 標 準

第一條 本條例ニ於テ所轄財務出張所長、所轄市長町村長、所轄市町村役場ト稱スルハ納稅地ヲ管轄スル財務出張所長、市町村長、市町村役場ヲ謂フ

第二條 縣稅ノ納稅義務者ハ左ノ各號ノ一ニ依リ所轄財務出張所長ニ之ヲ申告スベシ

一 屠畜稅又ハ日稅ノ賦課ヲ受クル者ハ其ノ行爲開始前

二 其ノ他ノモノハ納稅義務發生ノ日ヨリ三日以内

前項ノ申告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三條 財務出張所長ハ左ニ掲グル資料ニ依リ課稅標準額又ハ稅額ヲ査定若ハ決定シ前條ノ規定ニ依ル申告ヲ俟タズ直ニ賦課スルコトヲ得

- 一 地租附加税、特別地稅、營業收益稅附加税、所得稅附加税及鑛業稅附加税ニ付テハ稅務署其ノ他ノ調査
 - 二 物品販賣業ノ内牛馬賣買、金錢貸付業ノ内質屋、請負業、旅人宿業、料理屋業、周旋業、湯屋業、理髮業、遊技場業、遊覽所業、藝妓置屋業、車ノ内諸車(馬車)、市場、狩獵、藝妓、漁業ノ内漁業權、代書人ニ付テハ官廳ノ免許許可又ハ認可
 - 三 車ノ内自動車ニ付テハ自動車取締令ニ依ル檢査
 - 四 不動産取得又ハ船舶取得ニ付テハ登記ヲ爲シタルモノハ其ノ登記
 - 五 旋風機ニ付テハ電氣前業會社其ノ他ノ調査
- 第四條 第二條ノ規定ニ依ル申告書ニハ左ノ各號中關係ノ事項ヲ記載スベシ
- 一 營業名、物件名、種類及種目
 - 二 氏名住所又ハ居所、法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所所在地及代表者ノ氏名
 - 三 納稅義務發生ノ年月日
 - 四 營業所及物件所在地ノ一定シタルモノハ其ノ位置
- 營業所ニ依リ稅額ノ異ルモノハ其ノ地名

- 五 課稅標準額及稅額算定上必要ナル事項
- 六 同一課目ノ營業又ハ物件ニシテ課率若ハ課額ノ異ルモノハ其ノ種類ノ細別
- 七 取締上ノ免許、許可又ハ認可ヲ受ケタルモノハ其ノ年月日及期間
- 八 船ハ船名、碇繫場及船籍港ノ所在地、總噸數、積石數但シ總噸數五噸未滿積石數五十石未滿ノ船ニ在リテハ其ノ長サ
- 九 車ハ其ノ種類及大サ
- 一〇 金庫ハ其ノ種類及高サ
- 一一 牛馬ハ其ノ生年月日
- 一二 不動産取得ハ土地建物ノ所在地、不動産ノ種類段別又ハ坪數、建物ノ構造、價格、建物ノ建築ヲ請負ニ附シタルモノハ其ノ請負金額契約年月日、請負者ノ住所氏名
- 一三 船舶取得ハ船籍港及主タル碇繫場所地名、船種、船名、總噸數又ハ積石數、取得地名、建造ニ係ルモノニ在リテハ造船地名及船造者ノ氏名又ハ名稱但シ船籍港、積量ノ未定ノモノニ在リテハ其ノ豫定又ハ見積
- 一四 漁業中免許ヲ受ケタルモノハ其ノ種類番號年月日、漁場ノ一定シタルモノハ其ノ位置區

00746

劃漁業ニ在リテハ漁場ノ廣サ

一五 遊藝人ハ其ノ種類

一六 演劇、興行ハ其ノ開催地名、種類、豫定日數、定小屋ニテ爲スモノハ其ノ名稱及建坪數

一七 家屋ハ建物ノ所在地、建物ノ構造(石造、煉瓦造、コンクリート造)、土藏造、平家造、二階建何葺等、建物ノ用途、建物ノ

坪數、略圖(構造、用途、坪數)竣工又ハ使用開始ノ年月日
(等ヲ記入ノコト)

第五條 本條例ノ規定ニ依リ申告シタル事項ニ異動ヲ生ジ又ハ納稅義務消滅シタルトキハ其ノ事由ヲ詳具シ五日以内ニ第九條該當ノモノハ知事ニ其ノ他ノモノハ所轄財務出張所長ニ之ヲ申告スベシ物件ノ所有者又ハ使用者ノ異動ニ關シ申告ヲ爲ストキハ相續ノ場合ヲ除クノ外當事者連署スベシ連署スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ申告書ニ詳記スベシ納稅義務消滅シタル場合ニ於テ免許又ハ許可ヲ受ケタル營業、漁業又ハ物件ニ係ルトキハ之ニ關スル事實ノ届出年月日及官公署名、漁業ニ在リテハ免許又ハ許可ノ年月日、番號期間及漁場ノ位置ヲ申告書ニ記載スベシ

第六條 地方稅ニ關スル法律施行令第十五條第三項又ハ第五項、第十八條ノ規定ニ該當スル答

00747

業稅若ハ雜種稅ヲ賦課スベキモノヲ承繼シ又ハ納稅義務發生シタル者ハ最終納稅期間ニ於ケル納稅證明書若ハ納稅ノ證左ヲ添付シ承繼ノ場合ハ雙方連署シ所轄財務出張所長ニ申告スベシ 但シ雙方連署シ能ハザルトキハ其ノ事由ヲ申告書ニ詳記スベシ
前項納稅ノ證明ハ納稅地ヲ異ニセザル場合ハ添付ヲ要セズ

第七條 納稅義務ヲ有スルモノ課稅標準ノ申告ヲ爲サザルトキハ市町村長ハ之ガ申告又ハ更正ヲ促シ若シ之ニ應ゼザルトキハ自己ノ意見ヲ附シ財務出張所長ニ通知スベシ
財務出張所長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ更ハ調査シ課稅標準ヲ認定シテ其ノ納稅義務者ニ之ヲ通知スベシ
前項ノ通知ヲ受ケタルモノ其ノ認定ヲ不當ナリトスルトキハ該通知書ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ必要ナル帳簿書類及通知書ヲ添へ知事ニ再審査ノ申立ヲ爲スコトヲ得再審査ノ申立アリタルトキハ知事ハ更ニ審査シ其ノ額ヲ認定シ通知書ニ其ノ旨記入シ財務出張所長ヲシテ申立人ニ交付セシム

第八條 日稅ヲ納ムル者賦課後其ノ行爲ヲ爲サズ又ハ課稅標準異動シタルトキハ申告書ニ警察官吏ノ認證ヲ受ケ財務出張所長ニ申告スベシ

第九條 府縣制第八條又ハ府縣制施行令第三十條ニ該當スルモノハ營業收益稅額、所得稅額
決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ左ノ事項ヲ具シ知事ニ申告スベシ

一 業 名

二 本店、支店、出張所等營業所所在地

三 各營業所別ノ總收入金額、從業者數、純益

四 本 稅 額

五 本稅決定年月日

六 所屬事業年度別又ハ年別

七 縣外ニ主タル營業所ヲ置クモノニシテ本縣内ニ二箇所以上ノ營業所ヲ有スルモノハ納稅

地市町村名

第二章 鑑 札

第十條 左ニ掲グルモノハ市町村役場ニテ鑑札ヲ受ケ之ヲ携帯スベシ但シ特別ノ規定ニ依リ鑑

札又ハ免許證ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

周旋業、代理業、仲立業、問屋業、漁業、遊藝師匠、遊藝人、俳優、遊漁

第十一條 船ノ所有者第二條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ申告ヲ爲シタルトキハ船舶法又ハ船鑑札
規則ノ適用ヲ受クルモノヲ除クノ外五日以内ニ所轄市町村長ヨリ鑑札ノ交付ヲ受ケ船部

右側内面ニ釘着スベシ

第十二條 自轉車(免稅自轉車ヲ除ク)ヲ所有スルモノハ市町村役場ニ於テ車体(後部泥除ノ上

部、同時ニ附着シ能ハザルモノハ適當ノ部)ニ鑑札ノ卷付ヲ受クベシ

第十三條 自轉車鑑札ハ當該官吏吏員ノ外 卷付又ハ除去スルコトヲ得ズ但シ自轉車ノ賣買又ハ

修繕ヲ業トスル者(以下自轉車營業者ト謂フ)ハ自轉車ノ賣買又ハ修繕ノ爲鑑札ノ除去

ヲ要スル場合ニ限リ之ヲ除去スルコトヲ得

前項ニ依リ鑑札ヲ除去シタルトキハ自轉車所有者ハ除去シタル鑑札ヲ直ニ市町村長ニ返

納シ新ニ鑑札ノ券付ヲ受ケ、自轉車營業者ハ除去シタル年月日及自轉車所有者ノ住所氏

名、鑑札番號ヲ直ニ關係市町村長ニ届出ズベシ

第十四條 自轉車營業者ハ帳簿ヲ設ケ販賣先又ハ委託者及前條ニ依リ鑑札ヲ除去シタルモノノ住

所氏名、年月日、鑑札番號ヲ記入シ當該官吏吏員ノ要求アリタルトキハ之ヲ提示スベシ

第十五條 知事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ日時場所ヲ指定シ自轉車、荷積車ノ検査ヲ行フコト

アルベシ此ノ場合ニ於テハ自轉車、荷積車ノ所有者ハ指定ノ日時場所ニ當該物件ヲ持參シ検査ヲ受クベシ

第十六條 縣稅賦課條例第十九條該當ノ船車(自轉車ヲ除ク)其ノ他課稅外ノ船車ヲ所有スルモノハ市町村長ニ申告シ免稅ノ烙印又ハ無稅鑑札ノ交付ヲ受クベシ烙印又ハ鑑札ノ交付ヲ要セザルモノハ車体又ハ車体ニ其ノ證憑ヲ附着スベシ

縣稅賦課條例第十九條該當ノ自轉車ヲ所有スルモノハ知事ニ申告シ無稅鑑札ノ卷付ヲ受クベシ

無稅鑑札ヲ亡失毀損シタルトキハ前項ニ準ジ書換又ハ再交付ヲ受クベシ

第一項第二項ノ船車ヲ廢シタルトキハ自轉車ニ在リテハ知事ニ其ノ他ニ在リテハ市町村長ニ届出デ鑑札又ハ烙印ノ部ヲ返納スベシ

第十七條 荷積車ヲ修繕シタルトキハ其ノ都度市町村長ニ届出デ検査ヲ受クベシ

第十八條 犬ヲ飼育スル者ハ市町村長ヨリ鑑札ヲ受ケ犬ノ頸部ニ附着スベシ

第十九條 鑑札ハ賣買、交換、貸借、讓與又ハ讓受ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十條 演劇其ノ他ノ興行ヲ爲スモノハ其ノ開始前迄ニ縣稅ヲ納付シ納稅濟ノ證左ヲ臨監ノ警

察官吏ニ提示シ其ノ検査ヲ受クベシ

第二十一條 既ニ交付ヲ受ケタル鑑札ヲ亡失毀損シタルトキハ市町村長ニ届出デ書換又ハ再交付ヲ受クベシ

第二十二條 縣稅ノ納稅義務消滅シタルトキハ其ノ旨届出デ鑑札又ハ烙印アルモノハ之ヲ返納スベシ若シ検査ヲ返納シ能ザハルトキハ之ガ抹消ヲ受クベシ

第二十三條 本條例ノ規定ニ依リ交付又ハ附着ヲ受ケタル鑑札又ハ烙印ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當該官吏、吏員ハ之ヲ沒收スルコトアルベシ

一 第十三條ノ規定ニ違背シ當該官吏、吏員若ハ自轉車營業者以外ノ者ニテ卷付又ハ除去シタルモノ

二 第十六條ノ規定ニ依ル免稅鑑札ヲ他ノ船車ニ附着セルモノ

三 第十九條ノ規定ニ違背シ賣買、交換、貸借、讓與又ハ讓受ヲ爲シタルモノ

四 第二十二條又ハ三十二條ノ規定ニ依リ返納要ヲスルモノヲ返納セズ其ノ儘使用ノモノ

五 第三十一條ノ規定ニ依ル自轉車營業者商品専用鑑札ヲ賣買ニ依ル運搬以外ニ使用シタル

第三章 徵收義務者

第二十四條 料理屋、貸座敷、飲食店、席貸、旅人宿等ノ營業者其ノ他遊興者ヨリ花代金ヲ受領スル者ヲ遊興稅徵收義務者トス

第二十五條 鳥取縣興行組合ヲ演劇其ノ他ノ興行ニ屬スル觀覽稅徵收義務者トシ鳥取縣畜産組合聯合會ヲ地方競馬ニ屬スル觀覽稅徵收義務者トス

第二十六條遊興稅徵收義務者又ハ觀覽稅徵收義務者ハ縣稅賦課條例及本條例ノ規定ニ依リ遊興稅又ハ觀覽稅ヲ徵收スベシ

第二十七條 遊興稅徵收義務者ハ別記様式第一號ニ依ル徵收臺帳ヲ備ヘ其ノ時時所定ノ事項ヲ記載スベシ

前項ノ徵收臺帳ハ六年間之ヲ保存スベシ

第二十八條 遊興稅徵收義務者ハ左ノ期間内ニ徵收義務ノ生ジタル遊興稅額ヲ別記様式第二號ニ依リ貨務出張所長ニ申告スベシ 但シ其ノ營業ヲ廢止シ又ハ他市町村ニ移轉スル場合ハ直ニ申告スベシ

上半期	其ノ月	自一日	其ノ月十八日
		至十五日	限
下半期	同	自十六日	翌月三日
		至末日	限

第二十九條 前條ノ申告ニ關シテハ第七條ヲ準用ス

第四章 免稅
第三十條 法令又ハ縣稅賦課條例ニ依リ縣稅ヲ賦課セザルモノハ其ノ營業主、所有者又ハ行爲者ヨリ第四條ノ規定ニ準ジ免稅ノ申告ヲスベシ

第三十一條 縣稅賦課條例第十九條第十九號ニ該當スル自轉車ニシテ賣買ニ依リ運搬ヲ要スル場合便宜乗用スルモノハ知事ニ申請シ自轉車營業者商品専用鑑札ノ交付ヲ受ケ該自轉車ニ附着スベシ

前項ノ自轉車營業者商品専用鑑札ハ縣稅取締上不都合ナシト認ムル者ニ限り一營業者ニ付一箇ヲ交付ス

自轉車營業者商品専用鑑札ヲ受ケタル營業者縣稅賦課條例若ハ本條例ニ違背シタルトキ又ハ不都合行ノ爲アリタルトキハ自轉車營業者商品専用鑑札ヲ返納セシムルコトアルベ

00754

第三十二條 自轉車營業者廢業シタルトキハ既ニ交付ヲ受ケタル自轉車營業者商品專用鑑札ハ直ニ之ヲ返納スベシ

第五章 雜 則

第三十三條 府縣制第十六條第一項ノ規定ニ依リ臨檢シ若ハ檢査ヲ爲ス官吏、吏員ハ別記様式第三號ニ依ル檢査證ヲ携帶スベシ

前項ノ官吏、吏員臨檢若ハ檢査ヲ爲ストキハ納稅義務者又ハ其ノ代理人ハ之ニ立會スベシ

第三十四條 市町村長ハ縣稅賦課條例第二十條ニ該當スルモノアルトキハ其ノ住所、職業、氏名、年齡、該當事由ヲ詳記シ知事ニ報告スベシ

第三十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニハ過料ヲ科ス

- 一 第二條、第五條、第六條、第八條、第九條又ハ第二十八條ノ申告ヲナサザルモノ
- 二 第十條、第十一條、第十二條、第十六條、第十八條、第二十一條又ハ第三十一條第一項ノ鑑札ヲ受ケズ又ハ附着セザルモノ

00755

三 第十五條、第十七條、又ハ第二十條ノ檢査ヲ受ケザルモノ

四 第十三條、第十四條、第十九條、第二十六條又ハ第二十七條ニ違背シタルモノ

五 第二十二條、第三十一條第三項又ハ第三十二條ノ鑑札ヲ返納セザルモノ

第三十六條 營業者又ハ物件所有者ニシテ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ前條ノ過料ハ之ヲ其ノ法定代理人又ハ代表者ニ適要ス 但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

營業者又ハ物件所有者ハ其ノ代理人又ハ使用人其ノ他ノ從業者ニシテ本條例ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ前條ノ過料ヲ免ルルコトヲ得ズ
法人ノ代表者又ハ其ノ使用者ニシテ本條例ニ違背シタル場合前條ノ過料ハ之ヲ法人ニ科ス

附 則

昭和二年鳥取縣令第三十七號縣稅賦課條例施行細則本條例施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

様式 第一號

自昭和何年何月何日
至昭和何年何月何日

(表 紙)

00756

遊興稅徵收臺帳 何郡市何町村 何 某

考備 (備考ニハ遊興ヲ助ケタル藝娼妓酌婦等ノ名ヲ記載スベシ)	遊興稅	花代金額	遊興年月日	昭和年月日	納稅者姓名 何某外人ト記載スベシ
	市町村稅	縣稅	金何程	金何程	以上アルトキハ

契.....印.....切.....取.....線.....

遊興稅領收證		號番	領收年月日	昭和年月日	徵收義務者姓名
市町村稅	縣稅	金何程	金何程		

00757

一 徵收義務者ガ別ニ作製セル帳簿ニ依リ本臺帳ノ要件ヲ知り得ルトキハ本簿ヲ省略スルコト得

樣式第二號

昭和何年何月上(下)半期分遊興稅申告書

徵收義務者 住 所

氏 名 (印)

財務出張所宛

番號	遊興年月日	花代金額	遊興稅額	備考
一		圓	圓	
二				

一 地號ハ徵收臺帳ノ番號ヲ記載スルコト
 二 申告書ハ一口毎ノ記載ヲ省キ遊興年月日欄ニ「自何月何日 至何月何日」トシ各金額ハ合計額ヲ記載スルモ差支ナシ但シ財務出張所長ニ於テ必要ト認ムルトキハ一口毎ニ記載セシムルコト

00758

ヲ得
三 連續數日亘ル遊興ハ最終ノ日ヲ記載スルコト
樣式第三號

裏 面 表 面

第 號	縣 稅 檢 查 章
	所 屬 廳 名
第 號	官 職 氏 名
	名
年 月	日 交 付
鳥 取 縣 印	

縱七
橫四
糶八

00753

鳥取縣條例第三號

營業稅ハ昭和八年度分ニ限リ左ノ賦課率又ハ賦課定額ニ依リ賦課徴收ス
昭和八年二月十七日

鳥取縣知事 館

哲 二

課 目	等 級	年 稅 月 別 稅	課 稅 標 準	昭 和 八 年 度 賦 課 率 又 ハ 賦 課 定 額	制 限 外
物品販賣業稅	牛馬賣買	年 稅	營 業 上 主 金	千分ノ三、一四	制 限 內 賦 課 率
	飲 食 店	年 稅	營 業 上 主 金	千分ノ七、八五	制 限 內 賦 課 率
	其ノ他	年 稅	營 業 上 主 金	千分ノ六、二八	又ハ賦課定額
		年 稅	但シ收入金五十圓以上百圓未満	年稅總額 金一圓五十七錢	ノ百分ノ二十
		年 稅	營 業 上 主 金	千分ノ六、二八	ノ百分ノ二十
		年 稅	但シ賣上金百圓以上百五十圓未満	年稅總額 金二圓三十五錢	二
		年 稅	同 五十圓以上百圓未満	年稅總額 金一圓五十七錢	
銀行業稅		年 稅	資 本 金	萬分ノ二十七、四九	同
無盡業稅		年 稅	收 入 金	千分ノ十	同

湯屋業稅	鑛泉年稅	一浴槽	浴室十五坪以上ニシテ入浴料三錢以上	金四圓七十一錢
	(洗湯) (藥湯共)		同上ニシテ	金七圓八十五錢
			浴室八坪以上ニシテ入浴料三錢以上	金六圓二十八錢
			同上ニシテ	金六圓二十八錢
			浴室八坪未滿ニシテ入浴料三錢以上	金五圓十錢
			同上ニシテ	金五圓十錢
			入浴料三錢未滿	金二圓三十五錢
理髮業稅	床場年稅		理髮料金最高一人三十錢以上	金九十四錢
	理髮者		同上	金五圓四十九錢
			同上	金三圓九十二錢
			同上	金二圓七十四錢
			同上	金二圓七十四錢
			十五錢未滿	金一圓九十六錢

(理髮者以外ノ從業者アルモノニハ各一人ニ付本稅ノ四分ノ一ヲ增加ス)

寄席業稅	遊技場業稅	遊覽所業稅	藝妓置屋業
常設	臨時	日	日
年稅	日稅	最高料金	最高料金
其ノ突ノ他	其ノ突ノ他	一臺	一臺
金七圓八十五錢	金三圓九十二錢	金七圓八十五錢	金三圓九十二錢
金三圓九十二錢	金三圓九十二錢	金三圓九十二錢	金三圓九十二錢
金二十三元	金二十三元	金二十三元	金二十三元
同	同	同	同
鳥取市、米子市、東伯郡、吉町及其ノ連接地	鳥取市、米子市、東伯郡、吉町及其ノ連接地	鳥取市、米子市、東伯郡、吉町及其ノ連接地	鳥取市、米子市、東伯郡、吉町及其ノ連接地
西伯郡	西伯郡	西伯郡	西伯郡
境町	境町	境町	境町
藝妓十四歲以上一人	藝妓十四歲以上一人	藝妓十四歲以上一人	藝妓十四歲以上一人
藝妓十四歲未滿及娼妓兼業者一人	藝妓十四歲未滿及娼妓兼業者一人	藝妓十四歲未滿及娼妓兼業者一人	藝妓十四歲未滿及娼妓兼業者一人
酌婦一人	酌婦一人	酌婦一人	酌婦一人
金二圓五錢	金二圓五錢	金二圓五錢	金二圓五錢
金一圓九錢	金一圓九錢	金一圓九錢	金一圓九錢
金六十八錢	金六十八錢	金六十八錢	金六十八錢
金一圓九錢	金一圓九錢	金一圓九錢	金一圓九錢
同	同	同	同

(但シ花代ヲ徵セザルモノハ半額トス)

(但シ花代ヲ徵セザルモノハ半額トス)

00764

(藝妓置屋業稅ニシテ制限内月稅額一圓八十三錢ヲ超ユルトキハ其ノ稅額ニ超過稅額ノ百分ノ十八ヲ增加ス)

其ノ他		藝妓十四歲未滿及娼妓兼業者一人	金八十一錢	制限内賦課率又ハ賦課定額ノ百分ノ二十
		酌婦一人	金五十四錢	
		(但シ花代ヲ徵セザルモノハ半額トス)		

◆鳥取縣條例第四號

昭和七年鳥取縣條例第十六號縣稅徵收條例中左ノ通改正シ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年二月十七日

鳥取縣知事 館 哲 二

第一條 第一項第六號ヲ左ノ通改ム

六 營業稅及雜種稅

年 稅 金額ノ二分ノ一 四月三ノ日限

前 期 金額ノ二分ノ一 十月三十一日限

00765

後 期 金額ノ二分ノ一 十月三十一日限

月 稅 其ノ月二十日限

日 稅 届出ノ時

船稅、水車稅、牛馬稅、犬稅、漁業稅 (但シ鹹水漁業ノ内船舶ヲ用ヒザル漁業及淡水漁業ノ内雜漁ニ限ル) 及遊漁稅

全 額 四月三十日限

旋風機稅 全 額 八月二十日限

狩獵稅 全 額 本稅確定ノ翌月

屠畜稅、請負業稅 (請負金ニ對スルモノ) 並ニ賦課期日後納稅義務發生シタル漁業稅 (淡水漁業ニ對スルモノ) 及遊漁稅 届 出 ノ 時

不動産取得稅及船舶取得稅 財務出張所長時々之ヲ定ム

遊興稅 遊興ヲナシタルトテ

觀覽稅 觀覽ヲナサントスルトキ

00766

第一條 第二項ヲ左ノ通改ム

前項第一號乃至第五號並ニ第六號中賦課期日後納稅義務發生シタルモノニ付テハ前項規定ノ外ハ年稅ニ在リテハ其ノ翌月末日、月稅及季稅ニ在リテハ其ノ翌月二十日ヲ以テ徵收期限トス

告示

鳥取縣告示第六十五號

本縣男女兩師範學校ニ於テ昭和八年四月入學セシムベキ生徒ヲ募集ス其ノ要項左ノ如シ
詳細ハ夫其ノ校ニツキ承合スベシ

昭和八年二月十七日

鳥取縣知事 館 哲 二

學 校 名	科 別	募 集 人 員	願 書 受 付 期 限	試 驗 期 日	試 驗 場 所

00767

鳥取縣師範學校	專攻科	約四〇名	二月二十八日	自三月五日	鳥取縣師範學校
鳥取縣女子師範學校	同	同二〇名	同	同	鳥取縣女子師範學校

備 考

學校ニツキ承合ノ場合ニハ返信料添付ヲ要ス

鳥取縣告示第六十六號

本年第一回產婆、看護婦、鍼灸術、按摩術マツサージ術試驗出願者ハ願書ニ戶籍謄本若ハ抄本、寫眞(最近撮影シタル手札型、無台紙)貳葉添付三月十日迄ニ提出スベシ
試驗期日及場所ハ追而告示ス

昭和八年二月十七日

鳥取縣知事 館 哲 二

鳥取縣告示第六十七號

昭和八年二月產婆名簿ノ訂正セシ者左ノ如シ

昭和八年二月十七日

鳥取縣知事 館 哲 二

住所 鳥取縣鳥取市茶町二四番地

昭和八年一月十日前住所並開業地

鳥取縣鳥取市東町二三七番地ヨリ

移轉ニ付名簿訂正方出願ニ對シ昭

和八年二月二日訂正

吉 田 松 子

◆鳥取縣告示第六十八號

長崎縣北松浦郡志佐町白濱免日ノ前墓地ハ今回伊佐鐵道線路工事敷地ノ爲移轉改葬スルコトナリ
タルニ付右墓地内ノ葬主、緣故者ハ來ル二月十五日迄ニ志佐町白濱免管理者山本長四郎ニ申出ヅベ
ク若シ右期日迄ニ申出ナキモノハ管理者ニ於テ便宜改葬ノ旨照會アリタリ

昭和八年二月十七日

鳥取縣知事 館 哲 二

◆鳥取縣告示第六十九號

健康保險法施行令第二條第二項ノ規定ニ基キ被保險者ノ貸金給料及俸給ニ準ズベキ金錢以外ノ給與
其ノ他ノ利益ノ標準價格左ノ通定メ昭和八年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和八年二月十七日

鳥取縣知事 館 哲 二

- 一、食 事 一日ニ付 金二十四錢
- 一、住 宅 疊一疊一月ニ付 金三十錢
- 一、白 米 一キログラムニ付 金十六錢

正 誤

昭和八年二月十日付發行鳥取縣公報第三九三號中左ノ通誤植ニ付訂正ス

種類番號	頁數	行數	行目	實 驗	誤	正
鳥取縣訓令甲第一號	一	四	行 目	實 驗	ニ	實 驗
同	二	初	行	不 詳		不 詳